

1. 会長あいさつ

会長:大きな行事が終わって生徒たちも成長していると思う。教育実習生とさきほど会った。数年前と変わらない学校生活で、生徒は落ち着いて過ごしているようだ。学校運営協議会として何ができるかを考えていきたい。

2. 校長あいさつ

校長:学校の様子をお伝えいたします。10月6日(金)に前期終業式を行い、10月10日(火)から後期が始まり約2週間が過ぎた。前期終業式の挨拶では、3年生の修学旅行、2年生の職場体験、1年生の校外学習、そして運動会や部活動の大会において、協力して取り組めたことを賞賛し、後期も「今できること、やるべきことを精一杯やる」「学習面において努力を続ける」「自分だけでなく周りの人たちも気持ちよく生活できるよう助け合って過ごしてほしい」と話した。終業式の代表生徒の発表では、1年生からは「あいさつ運動、自主学習、行事などの経験を生かしながら成長できる場を大切に中学校生活を送りたい。」、2年生からは「前期の体験や学びを生かし、自主・自立・自律に向けて更に成長していきたい。仲良く助け合って充実した毎日を過ごしたい。」、3年生からは「学習できる雰囲気や学年全体で作っていききたい。感謝と感動を支えてくださった方々に届けたい。」という発表があった。生徒の発表を聞き、とても頼もしく感じると同時に、後期も一人一人が有意義な学校生活を送ってくれると改めて思った。

学校の様子を「学校だより」で紹介する。6号は、地区大会を勝ち抜いて県大会に出場した部活動の結果を掲載している。主な結果は、陸上競技部で1名が関東大会出場。水泳競技部で1名が関東大会出場。柔道部が優勝して全国・関東大会出場。野球部が3位で東日本大会出場。裏面には中学生平和派遣(国分寺中からは2、3年生が2名の4名)と中学生議会(2年生4名)の様子が掲載されている。7号表面に関東大会等の結果が掲載されている。柔道部は全国大会で団体がベスト16、個人で2名が3位となった。

7号表面にある通り、9月16日(土)に運動会を開催した。昨年度との大きな違いは、保護者の参観の人数制限なしで実施した。団長を中心に子どもたちが主体となって盛り上げた。8号には地区新人大会等の結果や小学生と一緒に行った「あいさつ運動」を掲載した。10月20日(金)は秋輝祭を開催した。今年度は午前に合唱コンクール、午後に英語スピーチ、少年の主張、広島派遣報告、ドイツ派遣報告、吹奏楽部演奏、生徒会主催イベントなど生徒の発表を実施した。保護者の参観は制限をせず、多くの保護者に見に来ていただいた。今年度も秋輝祭の生徒作品を国分寺公民館に10月19日(木)から10月29日(日)まで展示している。保護者だけでなく、地域の方にも生徒達の日頃の学習成果を見てもらえればと考えている。作品展示会場では、PTA本部役員が10月21日(土)に制服のリサイクル販売をおこなった。会長からも様子を伝えていただきたい。

本日の協議も、来年度に向けてのご意見をいただきたい。

委員:今回の制服のリユース販売を10月21日(土)に実施した。購入希望者が多く、土曜日13:00に開始したが13:45には完売した。改善点なども含めて、今後活性化するよう検討していき

たい。

3. 学校評価について

事務局：学校ホームページについて、行事の様子や通知等、様々な情報をその都度アップしているので、是非ご覧いただきたい。

本日は、学校評価の項目について、ご意見をいただきたい。参考までに令和4年度の結果を配付した。生徒、保護者、職員の集計結果を見ていただくとともに、来年度以降、追加したほうがよい項目などあったらご意見をいただきたい。今年度は、これらの項目で11月に実施する。この学校評価は学校区内で共通のものを使用している。

4. 意見交換

委員長：学校評価についてご意見を伺う。

委員：進路指導主事等として長い間勤務していたこともあり、進路についてとても気になる評価項目を見ると、キャリア教育に関する項目などもあり、網羅されているとは思いますが、高校再編もあるので、学校としてひと工夫していく必要もあるのではないかと。発信の仕方は十分なのかどうかなど、検討していく必要があるのではないかと感じた。

校長：先日も進路説明会を行っているが、近年の県の高校再編などの変化に対して情報を収集して、発信していく必要があるのかもしれない。

委員：学校評価については、小中3校の教頭が集まって項目を決めて3年前に決めたものを現在使用している。経年変化を見るためのものである。進路関係などの変化に対応するための力については、検討していく必要があるのかもしれない。

委員：読書についての項目が、評価が低いと感じた。今年度から読書の時間を設けているとは聞いているが、読書の必要性についても考えてしまう。時代の流れと教育のギャップが難しい。

委員：読書好きか、と聞かれて、好きだという子はどのくらいいるのかと思う。電車に乗っても、本を開いているのではなく、スマホで読んでいる人が殆どである。紙を見る習慣がないのではないかと。

委員：図書室を積極的に利用しているという評価項目が低いので気になった。図書室には新聞が置いてあるが、子どもは新聞を読むのかどうか。

校長：学校では「下野市新聞の日」があるので、年数回は一斉に新聞を読んで感想等をまとめている。

委員：文字を読むことが大切なのではないかと。

委員：身の回りの整理や掃除について、評価が高いと思った。

委員：経年変化を見るためには、同じ項目を継続する必要があると思う。過去と同じ質問プラスαで追加していく。質問事項の10番以降は平均が高いが、前半部分の学習に関する項目は全体的に低めであり、8・9番は生徒と保護者の認識が違う傾向がある。子ども、保護者、教職員で問題認識を共通で持たないといけないのではないかと。認識の差がある。また、何を目的に読書をさせるのかを意識することが大切ではないかと。文字を読むことが目的ではなくて、全体で伝えたい内容を理解することが大切だとか。

校長：読書は脳の活性化にもなると、佐藤学先生からも指導がある。読書の意義なども確認していきたい。

委員：幼稚園生は、絵本を読んでいる。大人になった息子は、PCから本を読んでいることが多い。最近
は本が売っていない、PCを開いたほうがすぐに手に入る人が多い。

委員長：絵本が好きな子は、本を好きになるのか。

委員：虫が好きな子は、虫の本を読みたがる。そこから文字を読んだりする行動に移る。

委員長：親の読み聞かせなどは、家でされているのか。

委員：読み聞かせをしている家は、今は少ないと思う。子どもを寝かせるために、タブレットを渡してい
る家庭もある。

委員：絵本は、とても感性が豊かになる。子どもの感性が大切である。

委員長：楽しく通っている、と思う子どもが平均3.3は、評価が少し低いのではないかと思う。生徒と
保護者の認識が違うのは、埋める方法はないのではないか。

事務局：特に交通ルールについての認識は、教員と子どもが全く違う。最近も近隣の方からの苦情を何件
か受けている。子どもへの安全への意識付けを図っていききたい。また、保護者に対しては、小中一貫
教育についての発信の仕方を工夫していききたい。

委員：保護者への周知の仕方は難しい。小中一貫教育のメリットを生かして、小学校での学びが中学校に
つながるとよい。

委員長：小中一貫教育もメリットとデメリットがある。中学校に入学してリセットできて伸びる子ども
もいる。

校長：小・中学校で目指す子ども像を共有することで、目指す方向性を共有できるとよい。

委員長：学校評価以外で何かあるか。

委員：小山は、防災のために体育館にエアコンを付けている。避難所になったときのために付いていると
聞いている。地域とともにある学校づくりへと転換していくとは、どのようなことを考えたい。ま
た、市から委託される業務についてPTAの関わり方を考える必要がある。また、学校運営協議会の趣
旨を踏まえるのであれば、学校は何が困っているのかが分からないので、言ってほしい。

5. その他

事務局：来年度、学校運営協議会委員の継続が難しい方は個別にご連絡をいただきたい。